

第4章 ケーススタディの実施

本章では、ケーススタディの実施を行った。

具体的には、まず実施方針の検討を行った。次に、景観形成の事後評価実施対象事例を、道路・橋梁・街路・河川・海岸・港湾・公園の各分野における景観形成関連のモデル事業等から選定した。さらに、選定した事例ごとに事業特性・景観特性を配慮しつつ、景観形成事後評価手法を検討し、実際に事後評価を実施した。評価の視点としては風景としての調和といった観点だけでなく、周辺への波及効果、市民の利用実態・意識等、客観的に論ずることのできる事項を重点的に検討し、創出された景観から見て景観整備方針が適切だったかについても評価を行った。

4. 1 ケーススタディの実施方針検討

ケーススタディの実施にあたっては、以下の3つの段階に沿って各種調査を行うことを検討した。

■段階1) 事前調査

施設周辺の概要や対象事例に関する計画・設計の意図等について、事前に、文献の収集や、計画・設計者へのヒアリングを実施する。ここでは、「景観整備による波及効果を意識して整備した内容・箇所」、及び、効果の具体的内容として「期待する効果」を抽出・整理する。

■段階2) 現地での調査

ここでは、施設の利用者を対象とした調査として、アンケート調査、ヒアリング調査、定点観測調査の3種類を実施する。

アンケート調査では、調査対象を主に施設周辺の住民とし、施設に対する印象評価、整備前後における印象の変化、日常的な利用の内容、整備前後における利用の変化、等についての回答を得る。これと計画・設計意図とを比較することにより、景観整備による波及効果を捉えることができる。なお、観光客の利用が中心と思われる事例については、周辺住民のみを対象とするのではなく、現地での利用者全般とする。

ヒアリング調査では、調査対象を利用団体とし、アンケート調査と同様の項目についてより詳細を聴取する。

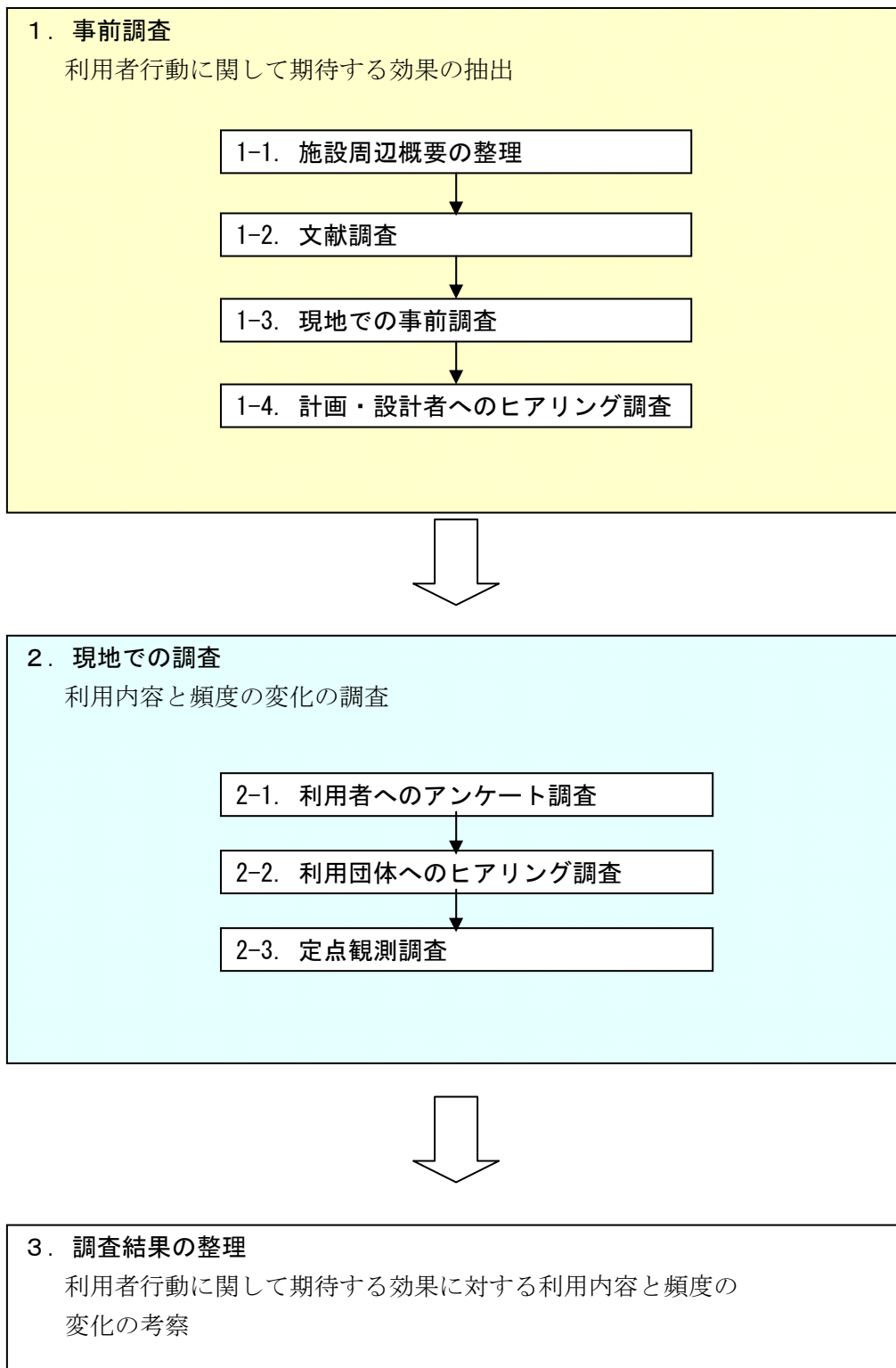
定点観測調査では、利用者や施設周辺の建築物・施設等を対象とし、さらなる効果を確認し、また効果が確認された箇所について整理する。

■段階3) 調査結果の整理

以上の調査結果を整理する。

4. 1. 1 調査手法（案）

（1）利用者行動に与える効果に関する調査



1-1 施設周辺概要の整理

- ・土地利用図等から、対象事例周辺の土地利用等を整理する。

【調査項目】

- ・施設周辺の建築物や施設の分布（住宅／商業施設／その他）
- ・来訪者が利用する駅等交通機関の分布

1-2 文献調査

- ・対象事例に対するインターネット、パンフレットや観光情報の掲載状況等を把握することで、地域、行政、利用者等の認知度、意識変化、評価等に関する情報を収集する。
- ・対象事例における計画・設計意図に関する文献調査により、利用者行動に与える効果を意識して整備した内容（項目）や箇所、期待する効果を抽出する。

1-3 現地調査

- ・現地での実際の利用者行動のバリエーションを抽出する。

1-4 計画・設計者へのヒアリング調査

- ・計画・設計者に対し計画・設計の意図についてヒアリング調査を実施し、文献調査で抽出した利用者行動に係る期待する効果について補足、再整理を行う。

【調査項目】

- ・利用者行動に与える効果を意識して整備した内容・箇所
- ・上記整備による利用者行動に関して期待する効果

2-1 利用者へのアンケート調査

- ・周辺住民や来訪者へ利用者行動に関するアンケート調査を実施する。

【調査対象】

- ・主に周辺住民。
- ・ただし、対象事例の周辺に住宅がない立地の場合、観光客の利用が中心と思われる場合等については、現地の利用者を対象とする。

【調査項目】

- ・利用者の評価、意識変化等
- ・行動の内容と頻度：内容は「通過」、「散歩」、「休憩」、「周囲を眺める」、「写真撮影」等、頻度は「よく行う」「たまに行う」「ほとんど行わない」「行わない」から選択
- ・整備前後での利用頻度の変化：各行動内容について、頻度の変化を5段階から選択
- ・利用ルートの変化：利用ルートの変化を地図に記入
- ・自由回答：上記項目以外の利用者行動を記入

2-2 利用団体へのヒアリング調査

- ・利用団体へ利用に関する内容と頻度の変化についてのヒアリング調査を実施する。

【調査対象】

- ・計画・設計者へのヒアリングやインターネット検索等により抽出した利用団体

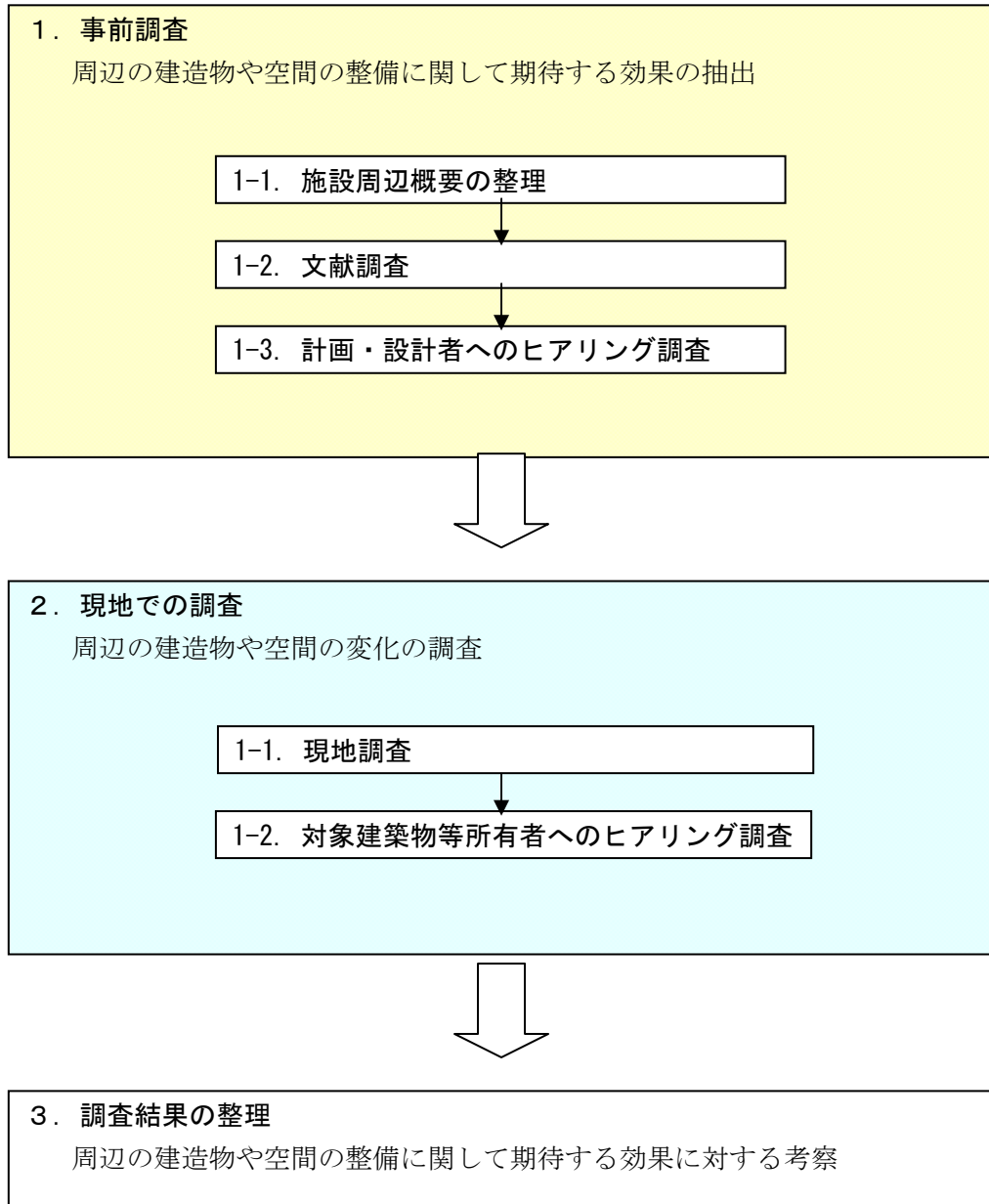
【調査項目】

- ・景観整備の前後において利用方法が変化した「内容」とその「頻度」

2-3 定点観測調査

- ・現地での利用者行動とその箇所を調査する。

(2) 施設周辺の景観に与える効果に関する調査



1-1 施設周辺概要の整理

- ・土地利用図等から、対象事例周辺の土地利用を整理する。

【調査項目】

- ・施設周辺の整備可能な建築物の分布（住宅／商業施設／その他）
- ・施設を眺望する視点場の有無
- ・建築以外の景観改善に寄与する周辺施設の有無（緑化、電線の地中化、など）

1-2 文献調査

- ・対象事例に対するインターネット、パンフレットや観光情報の掲載状況等を把握することで、地域、行政、利用者等の認知度、意識変化、評価等に関する情報を収集する。
- ・対象事例における計画・設計意図に関する文献調査により、施設周辺に与える効果を意識して整備した内容（項目）や箇所を抽出する。

1-3 計画・設計者へのヒアリング調査

- ・計画・設計者に対し計画・設計の意図についてヒアリング調査を実施し、文献調査で抽出した施設周辺に与える効果を意識して整備した内容（項目）や箇所について補足、再整理を行う。

【調査項目】

- ・施設周辺に与える効果を意識して整備した内容（項目）や箇所
- ・施設周辺の空間に対して期待する効果

2-1 現地調査（調査対象建築物・施設の抽出）

- ・対象事例周辺の土地利用を参考に、対象事例を中心とした一定範囲（事例により異なる）を調査区域に設定し、現地調査を実施する。
- ・上記で抽出した効果項目に照らし、該当する建築物・施設等を抽出し調査対象とする。

2-2 対象建築物等所有者等へのヒアリング調査

- ・現地調査により抽出した調査対象建築物・施設の所有者等へヒアリング調査を実施する。
- ・調査結果は、調査区域を範囲とした地図へのプロットにより整理する。

【調査項目】

- ・施設整備による関係者の評価、意識変化
- ・施設周辺に与える効果と考えられる内容の詳細
- ・施設周辺に与える効果と考えられる内容の実施時期
- ・施設周辺に与える効果と考えられる内容の実施理由（景観整備の効果か否か、など）

※上記現地調査で該当する建築物・施設が抽出されなかった場合、自治会等に対し、将来対象事例に配慮した修景等の実施の可能性の有無を調査することも考えられる。

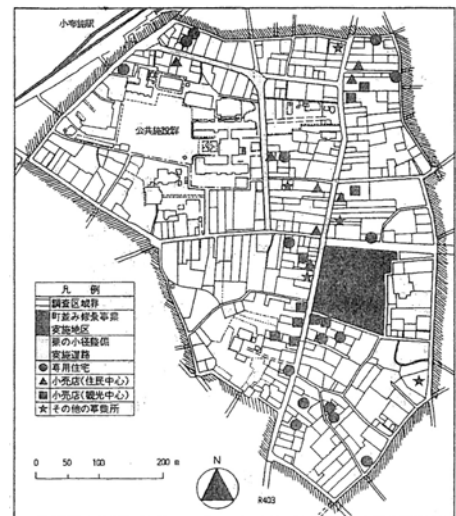


図-3 修景建築物の用途

※上記調査手法は1例として示したものであり、調査対象事例の事業種別、周辺地域特性と想定される効果等により、異なる調査手法が考えられる。

4. 2 景観形成の事後評価実施対象事例選定

4. 2. 1 選定の考え方

調査対象事例（案）の選定の考え方は、以下に示す通りである。

- ①土木学会デザイン賞(2001～2007)を受賞した事例全てをリストアップする。
- ②景観整備の効果をより把握しやすい地元に着した整備事例を、アドバイザーの助言を踏まえて追加する。
- ③以上によりリストアップした事例の中から、より多くの整備効果が把握可能と考えられる事例を、調査候補事例として抽出する。

この際、以下に留意する。

- ・直轄事業の参考となる事例を優先する。
- ・整備後経過年数に留意する（「利用者行動に与える効果」の調査対象は、原則として竣工後3年、「施設周辺の景観に与える効果」の調査対象は、原則として竣工後5年以上のものを対象とする）。
- ・対象事例によって特に注目すべき効果については、差別化し詳細に把握する。
- ・事例ごとに得られる効果の質・量が異なることを考慮し、以下のような事例の特性について対象事例相互のバランスに配慮する。

表4-1 事例の特性と基準、効果との関係例

特性	分類	基準	効果との関係
整備種類	①新規整備	新しく構造物が出現したもの、整備前にはなかった機能（利用）が新たに加わったもの	事業による変化の影響が大きいと想定される。そのため、事業による効果と景観整備による効果の整理が必要。
	②改修整備	整備前後で機能（利用）は変わらず、景観整備によるグレードアップを図ったもの	景観整備による変化の影響が想定される。特に、被験者に整備前の記憶が残っている場合は整備前後の比較が容易。
事業の総合性	①総合的整備	同一事業の中で複数の施設整備が計画されているもの	事業による変化の影響が大きいと想定される。そのため、事業による効果と景観整備による効果の整理が必要。
	②単体整備	事業として施設単体の整備に完結しているもの	景観整備による変化の影響が大きいと想定される。
事業規模	①大	総合的事業や事業面積の大きいもの	地域全体の景観形成に影響しやすい。
	②小	単体事業や事業面積の小さいもの	コミュニティの景観形成に影響しやすい。
PIの実施	①実施	ワークショップや意見交換会など継続的に住民参加を実施したもの	ワークショップ等へ参加したことによる効果が大きいと想定される。
	②実施していない	ワークショップなど住民参加の手法を用いていないもの	景観整備による効果が大きいと想定される。
利用者の属性	①地域住民の利用がある、地域住民以外の利用もある	コミュニティの施設として、かつ観光的な施設としての役割をもつもの	利用者にとっての景観整備の効果の把握が可能。ただし、評価主体によって効果の捉え方が異なる場合があり、主体別の効果の意味の整理が必要。
	②地域住民の利用がある、地域住民以外の利用がない	コミュニティの施設としての役割を持つもの	地域住民にとっての景観整備の効果の把握が可能。
	③地域住民の利用がない、地域住民以外の利用がある	観光的な施設としての役割を持つもの	地域住民以外にとっての景観整備の効果の把握が可能。
	④地域住民の利用がない、地域住民以外の利用もない	周囲に人家等がなく人の利用を前提としていないもの	利用者効果、空間変化の把握は困難。

4. 2. 2 選定された13事例のリスト

上記の選定の考え方に基づき、選定された13事例のリストを表4-2に示す。また、選定時に用いた調査候補地一覧を表4-3に示す。

表4-2 選定案一覧

事業分野・施設	都市・地域整備	公園	河川			海岸	道路	街路・遊歩道	橋梁・高架橋		駅・駅前広場	港湾		
	山形県金山町まちなみ整備	豊田市児ノ口公園	太田川基町護岸	津和野川河川景観整備	岸公園	指宿海辺の散歩道	福島西道路	壺屋やちむん通り	勝山橋「歩車」	油津堀川運河・木橋（夢見橋）	日向市駅周辺地区整備	門司港レトロ地区環境整備	汽車道	
デザイン賞受賞年度	07	04	03	02	03	—	—	03	06	—	—	01	01	
竣工年	—	95	83	96	99	94	98	98	00	07			97	
所在都道府県	山形	愛知	広島	島根	島根	鹿児島	福島	沖縄	福井	宮崎	宮崎	福岡	徳島	
事業主体	直轄（国）●													
調査の確実性	現地調査・定点観測 ■													
	地域住民等アンケートヒアリング													
	現地来訪者アンケート（面接） ■													
整備種類（新：新規整備、改：改修整備）	改	改	改	改	改	改	新	改	改	新	改	新	新	
事業の総合性（複合的整備●）	●				●					●	●	●		
事業規模（大：地域全体へ影響、小：コミュニティへ影響）	大	小	大	小	小	小	大	小	大	小	大	大	大	
PIの実施（実施●）	●	●					●	●		●	●			
利用者の属性	地域住民 ●													
	地域住民以外 ●													
想定される整備効果	(1)意識変化	①機能評価 ●												
		②施設・空間の印象評価 ●												
		③親しみ・愛着 ●												
		④誇り ●												
	(2)利用者行動に与える効果	①利用形態・頻度等の変化 ●												
		②商業活動の活性化 ●												
		③地域活動（イベント・行事）活性化 ●												
		④環境保全・学習活動 ●												
		⑤施設を核とした避難体制の構築 ●												
		⑥近隣住民同士の会話の場 ●												
	(3)施設周辺の空間に与える効果	⑦利用ルールの作成 ●												
		⑧樹木の手入れ・花壇等の設置 ●												
		⑨清掃等の維持管理活動 ●												
①商業活動の変化 ●														
②建物ファサード変化 ●														
③軒先空間の変化 ●														
調査候補地（案）	「利用者行動」の調査対象事例 ●													
	「施設周辺」の調査対象事例 ●													

【凡例】
●…特に注目すべき効果
■…気象条件、周辺地域特性等から調査に難がある。
▲…調査がやや困難と予想される。

表4-3 調査候補地一覧(1)

事業分野・施設	都市・地域整備		公園		河川										ダム			洋	道路										街路・遊歩道																												
	事例名称	横浜市内における一連の都市デザイン	山形県金山町まちなみ整備	キャナルタウン神戸	アルカディア21住宅街区	豊田市児ノ口公園	モエレ沼公園	阿武隈川渡利地区水辺空間(水辺の楽校)	太田川基町護岸	多自然型川づくり	子吉川二十六木地区	小浜地区低水水制群	モテル事業	茂漁川ふるさとの川	東山の水辺・関ヶ原の水辺	和泉川	源兵衛川・暮らしの水辺	桑名 住吉入江	浦安 境川	津和野川河川景観整備	精進川(ふるさとの川づくり)(河野公園区間)	お釣土場	矢作川 古川水辺公園	岸公園	中筋川ダム	苦田ダム	横川ダム	木野部海岸	指宿海辺の散歩道	志賀ルートー自然と共生する道づくり	筑波研究学園都市ゲート	千葉東金道路・山武区間	日光宇都宮道路	四国横断自動車道鳴門西パーキングエリア周辺	宮洲新橋上金井線改良事業	新潟みなとトンネル(西側の掘削区間の道路)	福島西道路	国道20号(新宿通り)	堺町本通	壺屋やちむん通り	皇居周辺道路及び緑地景観整備	MHO MUSEUM APPROACH															
デザイン賞受賞年度	05	06	07	07	07	04	06	04	03	05	02	06	05	04	04	04	02	02	07	07	03	01	07	—	06	—	01	01	01	01	02	04	01	05	—	—	02	03	05	01																	
竣工年	—	—	—	99	90	95	88	99	83	—	—	98	96	98	02	99	96	94	97	99	95	04	08	—	94	97	85	98	81	02	93	02	98	—	99	98	98	96																			
所在都道府県	神奈川県	長野県	山形県	兵庫県	兵庫県	愛知県	北海道	福島県	広島県	秋田県	熊本県	北海道	神奈川県	静岡県	三重県	千葉県	島根県	北海道	愛知県	島根県	高知県	岡山県	山形県	青森県	鹿児島県	長野県	茨城県	千葉県	栃木県	徳島県	長野県	新潟県	福島県	東京都	北海道	沖縄県	東京都	滋賀県																			
事業主体	直轄(国)●																																																								
調査の確実性	現地調査・定点観測		■			■	▲		■		■										■	■	■	■																																	
	地域住民等アンケートヒアリング																																																								
	現地来訪者アンケート(面接)																																																								
整備種類(新:新規整備、改:改修整備)	改	改	改	改	新	改	新	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改	改																
事業の総合性(複合的整備●)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
事業規模(大:地域全体へ影響、小:コミュニティへ影響)	大	大	大	小	小	小	小	大	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	大	大	大	小	小	大	大	大	大	小	小	大	小	小	小	小	大	大	小																		
PIの実施(実施●)		●	●			●				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
利用者の属性	地域住民	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
	地域住民以外	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
想定される整備効果	(1)意識変化	①機能評価	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
		②施設・空間の印象評価	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
		③親しみ・愛着	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
		④誇り	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
	(2)利用者行動に与える効果	①利用形態・頻度等の変化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
		②商業活動の活性化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
		③地域活動(イベント・行事)活性化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
		④環境保全・学習活動	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
		⑤施設を核とした避難体制の構築	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
	(3)施設周辺の空間に与える効果	⑥近隣住民同士の会話の場	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
		⑦利用ルールの作成	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
		⑧樹木の手入れ・花壇等の設置	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
⑨清掃等の維持管理活動		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
①商業活動の変化		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
②建物ファサード変化		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
③軒先空間の変化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																
④周辺景観の改善	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																
⑤周辺施設の連帯性の向上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																
⑥視点場の形成	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																
調査候補地(案)	「利用者行動」の調査対象事例		●			●		●	●						●	●		●																																							
	「施設周辺」の調査対象事例		●					●	●							●	●		●																																						

【凡例】
 ●…特に注目すべき効果
 ■…気象条件、周辺地域特性等から調査に難がある。
 ▲…調査がやや困難と予想される。

表4-3 調査候補地一覧(2)

事業分野・施設	橋梁・高架橋																								駅・駅前広場										美術館	港湾・港湾緑地									
	中央線東京駅付近高架橋〔鉄〕	牛深ハイヤ大橋〔車〕	滝下橋〔車〕	鳴瀬川橋梁〔鉄〕	フォレストブリッジ〔歩〕	鶴見橋〔歩車〕	阿嘉大橋〔歩車〕	鮎の瀬大橋〔歩車〕	銀山御幸橋〔車〕	ふれあい橋〔歩〕	スプリングひよし展望連絡橋〔歩〕	池田へそっ湖大橋〔車〕	南風原高架橋〔車〕	陣ヶ下高架橋〔車〕	であい橋〔歩〕	ラグーナゲートブリッジ〔歩〕	大宮ほこすぎ橋〔歩〕	南本牧大橋〔歩車〕	角島大橋〔車〕	高松市内の高速道路〔車〕	隼大橋〔歩車〕	綾の照葉大吊橋〔歩〕	東海北陸自動車道白川橋と大牧トンネル	イナコスの橋〔歩〕	勝山橋〔歩車〕	第二東名高速道路芝川高架橋〔車〕	志津見大橋(ダム付替道路)〔歩車〕	油津堀川運河・木橋(夢見橋)	町屋橋〔歩車〕	与野本町駅西口都市広場	おゆみの駅駅舎・駅前広場景観設計	東岡崎駅南口広場ガレリアプラザ	多摩都市モノレール立川北駅	札幌駅南口広場		みなとみらい線	〓浜松北口駅前広場改修計画	日向市駅周辺地区整備	牧野富太郎記念館	長崎水辺の森公園	門司港レトロ口地区環境整備	鹿児島本港の歴史的防波堤	鳥羽・海辺のプロムナード「カモメの散歩道」	自動車道	
デザイン賞受賞年度	01	01	01	01	01	01	01	02	02	02	02	02	03	03	03	03	03	03	03	03	04	04	04	05	06	06	07	—	—	01	02	02	03	04	06	07	—	06	06	01	01	07	01		
竣工年	97	97	97	99	96	90	98	99	96	93	98	00	96	01	98	01	01	01	00	00	02	84	94	00	未	07	—	—	94	95	—	99	99	04	—	99	04	—	98	05	97				
所在都道府県	東京	熊本	北海道	宮城	愛知	広島	沖縄	熊本	秋田	栃木	京都	徳島	沖縄	神奈川	岐阜	愛知	埼玉	神奈川	山口	愛媛	福岡	宮崎	岐阜	大分	福井	静岡	島根	宮崎	三重	埼玉	千葉	愛知	東京	北海道	神奈川	静岡	宮崎	高知	長崎	福岡	鹿児島	三重	神奈川		
事業主体	直轄(国)●																																												
調査の確実性	現地調査・定点観測																																												
	地域住民等アンケートヒアリング																																												
	現地来訪者アンケート(面接)																																												
整備種類(新:新規整備、改:改築整備)	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	改	新	新	新	新	改	新	改	改	改	新	新	新	新	改	新			
事業の総合性(複合的整備●)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
事業規模(大:地域全体へ影響、小:コミュニティへ影響)	小	大	小	小	小	小	小	大	小	大	小	大	小	小	小	小	大	大	大	大	大	大	大	小	大	小	小	小	小	大	大	大	大	大	大	大	大	小	小	大	小	小	大		
PIの実施(実施●)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
利用者の属性	地域住民																																												
	地域住民以外																																												
(1)意識変化	①機能評価																																												
	②施設・空間の印象評価																																												
	③親しみ・愛着																																												
	④誇り																																												
(2)利用者行動に与える効果	①利用形態・頻度等の変化																																												
	②商業活動の活性化																																												
	③地域活動(イベント・行事)活性化																																												
	④環境保全・学習活動																																												
	⑤施設を核とした避難体制の構築																																												
	⑥近隣住民同士の会話の場																																												
	⑦利用ルールの作成																																												
	⑧樹木の手入れ・花壇等の設置																																												
	⑨清掃等の維持管理活動																																												
(3)施設周辺の空間に与える効果	①商業活動の変化																																												
	②建物ファサード変化																																												
	③軒先空間の変化																																												
	④周辺景観の改善																																												
	⑤周辺施設の連帯性の向上																																												
	⑥視点場の形成																																												
調査候補地(案)	「利用者行動」の調査対象事例																																												
	「施設周辺」の調査対象事例																																												